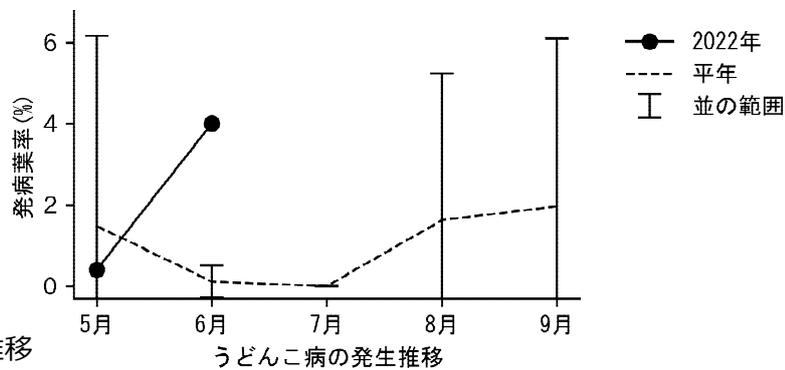


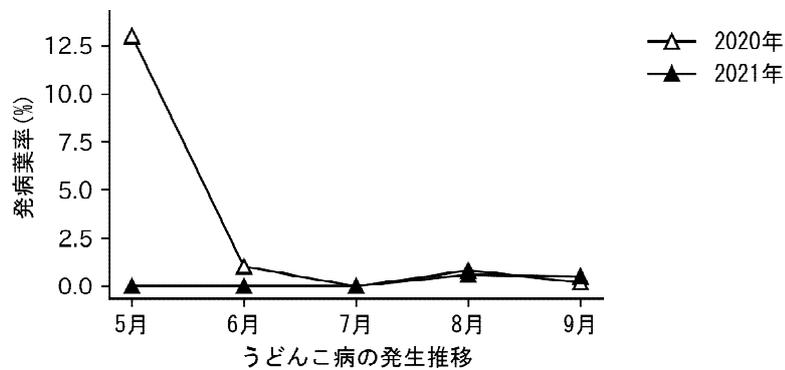
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	6 月からの増減傾向	→	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



- ・一部ほ場で多発
- ・発生ほ場率20.0% (平年：2.2%)

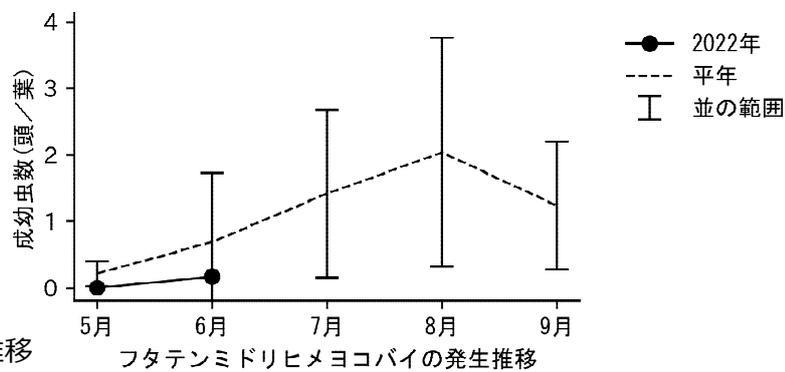
防除のポイント

- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

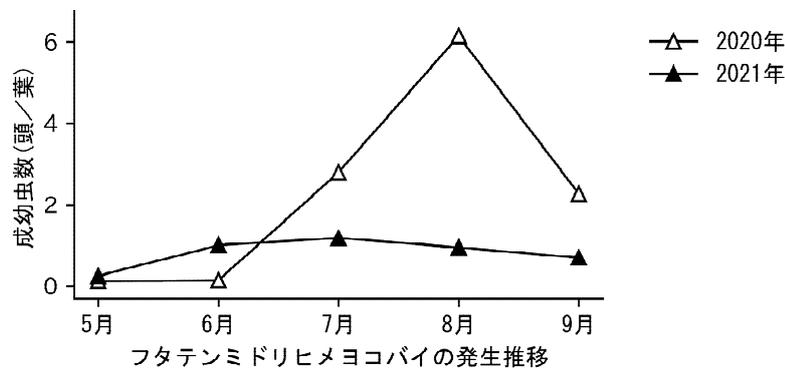
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



・発生ほ場率80.0% (平年：62.2%)

防除のポイント

・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

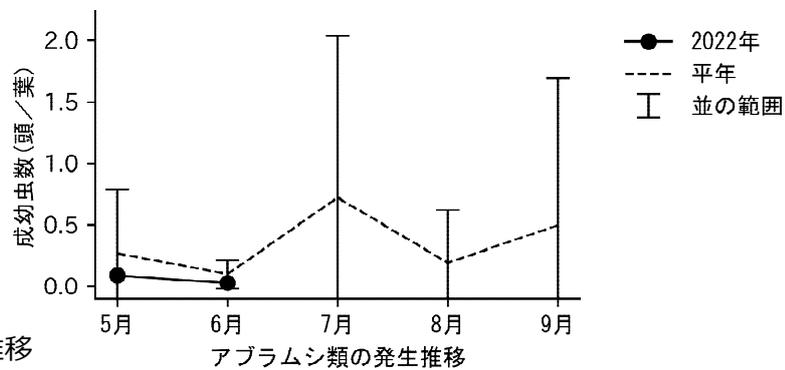


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

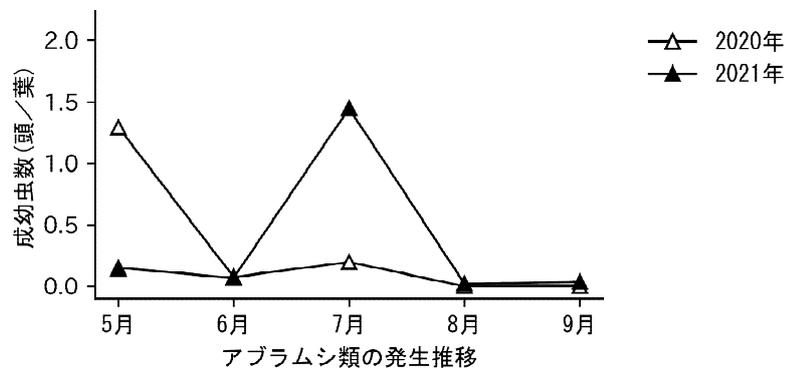


調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



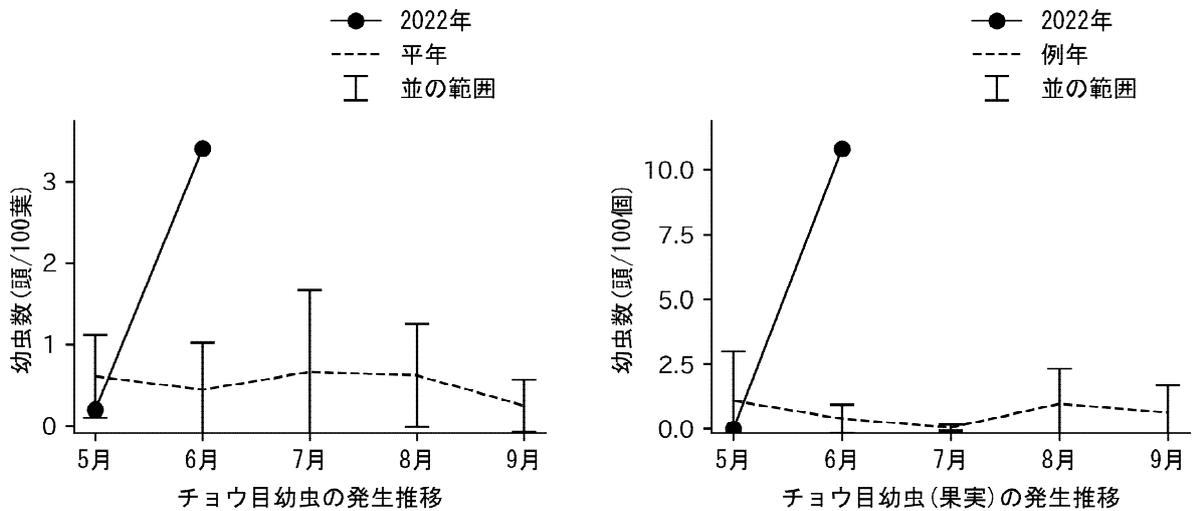
・発生ほ場率60.0% (平年 : 31.1%)

防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	④ チョウ目幼虫		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	6 月からの増減傾向	↗	
	7 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果



- ・一部ほ場で多発
- ・発生ほ場率：葉100% (平年：17.8%)、果実40.0% (平年15.0%)
- ・発生種：葉 (ハスモンヨトウ、ワタアカキリバ)、果実 (ハスモンヨトウ)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

